

平成25年度 決算報告

町の将来像の実現に向けた諸施策の実施

特集

平成二十五年度決算についてお知らせします。
一般会計の歳入は五十五億三千八百三十九万円で、予算現額に対して百一・一%の収入率でした。歳出は効率的な執行の結果、五十二億八千七百六十六万円となり、予算現額に対して九十六・六%の執行率でした。

今月号では昨年度の歳入と歳出の執行状況をお知らせします。また、あわせて財政健全化法に基づく健全化判断比率と資金不足比率の算定結果についてご報告します。

歳入

歳入総額は、前年度比三千百万円の増加となりました。これは法人町民税が大幅に減少したことに対応するため、基金からの繰入金を増額したことが主な理由です。

歳出

歳出総額は、前年度比二千百万円の減少となりました。

目的別では、民生費で五千四百万円の増加（対前年度比プラス三・〇%）、総務費で七千三百万円の減少（対前年度比マイナス七・三%）でした。

町は第四次総合計画において、町の将来像を「にぎわいとやすらぎのアーバンビレッジ」としています。都市の利便さを持ちつつも、緑の残る穏やかな環境も兼ね備えるまちを目指して、七つの目標を掲げて各施策に取り組みんでいます。

第四次総合計画のまちづくり目標別
に実施した主な事業は次のとおりです。

目標1 快適で活気あふれるコンパクトなまち

- ・ 大山川堤防道路の整備（212万円）
- ・ 大山川右岸堤防道路（神明公園側）に歩道を設置するための用地測量調査

・ 道路改良工事の実施（5335万円）

大山川左岸堤防道路（三菱重工業側）の舗装代替工事など、道路環境の整備

目標2 にぎわいを生み出す個性豊かなまち

・ 名古屋空港の利用促進（722万円）

県営名古屋空港を利用した町民や町商工会会員を対象に航空運賃を助成

・ 農業施設の更新（9994万円）

農業用水の安定供給により農地の有効利用や生産性の向上を図るため、農業用ポンプやゲートの維持工事を実施

目標3 安全・安心で住みやすさを実感できるまち

・ 通学路カラー塗装の実施（650万円）

交通安全の推進と、児童の安全な通行のため、志水小学校周辺の通学路へのカラー塗装工事を実施

・ 防災士の養成（13万円）

大規模災害が発生した際に、各地域で避難所の運営や救助・救命を行うための知識や資格を有する、防災士を養成するための補助制度を創設

・ 図上訓練の実施（47万円）

職員の地震や風水害等への対応能力の向上を図るため、図上訓練を実施

・ 業務継続計画の策定（242万円）

災害発生時に優先度の高い業務をスムーズに実施するための業務継続計画を平成二十五年度から二年かけて策定

目標4 地球にも人にも優しい持続可能なまち

・ LED防犯灯への更新（132万円）

リース契約により、昨年度の更新分とあわせて、ほぼ全ての防犯灯を水銀灯方式からLED方式へ更新

・ 住宅用太陽光発電システムの設置補助（226万円）

住宅用太陽光発電システムの設置費用を助成